

免疫チェックポイント阻害剤で治療を受けられた間質性肺陰影合併 肺癌の患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、カルテに記載された情報を収集してまとめることによって行いますが、患者さんの個人情報については配慮しながら行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 間質性肺陰影合併肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の安全性と有効性を検討する後方視的研究

[研究の目的] 本研究は、間質性肺陰影を合併する進行/再発肺癌を対象として、免疫チェックポイント阻害剤の安全性と有効性を後方視的に検討することが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

進行/再発肺癌に対して2015年12月25日～2021年5月31日に免疫チェックポイント阻害剤が投与され、間質性肺陰影を合併した症例が対象となります。

●利用するカルテ情報

・主要評価項目として、間質性肺陰影を有する肺癌に対して免疫チェックポイント阻害剤を用いて治療を行った症例における免疫関連有害事象(irAE)としての薬剤性肺炎のリスク因子、頻度、重篤なirAE発生割合を、副次評価項目として、免疫チェックポイント阻害剤単剤または併用療法の奏功割合、無増悪生存期間、全生存期間、治療期間などの情報を利用させていただきます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。情報は代表者をはじめとする当院の医師のみが利用します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

[問い合わせ先]

大阪府堺市北区長曾根町1180番地

近畿中央呼吸器センター 内科 滝本 宜之

電話 072-252-3021 FAX 072-251-1372